



平成 20 年 4 月 28 日

各 位

上場会社名 **日 清 紡**

コード番号 3105

代表者名 取締役社長 岩下俊士

問合せ先 取締役専務執行役員

事業支援センター長 鶴澤 静

TEL 03-5695-8846

平成 20 年 3 月期通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

平成 19 年 11 月 13 日に公表しました平成 20 年 3 月期通期業績予想（連結・個別）を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(1)連 結

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成 19 年 11 月 13 日発表)	百万円 315,000	百万円 15,500	百万円 20,500	百万円 15,500
今回修正予想 (B)	322,000	12,000	19,000	12,000
増 減 額 (B - A)	7,000	△3,500	△1,500	△3,500
増 減 率 (%)	2.2	△22.6	△7.3	△22.6
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期通期)	312,825	11,551	17,282	15,107

(2)個 別

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成 19 年 11 月 13 日発表)	百万円 131,000	百万円 5,400	百万円 9,500	百万円 6,000
今回修正予想 (B)	132,000	4,000	8,400	△7,200
増 減 額 (B - A)	1,000	△1,400	△1,100	△13,200
増 減 率 (%)	0.8	△25.9	△11.6	-
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期通期)	137,696	4,521	7,795	8,599

2. 修正の理由

(1) 連結

日清紡（個別）では、ブレーキ事業が新興国や産油国向完成車輸出増に伴う国内自動車生産増などにより好調に推移しましたが、繊維事業や化学品事業では製品市況の悪化や原材料の値上がり等の影響により採算が悪化する見込みとなりました。この結果、売上高は予想を若干上回る見通しであるものの、営業利益は前回予想を下回る見込みです。また、子会社 CHOYA(株)は主力の百貨店部門における売上の不振等により、また同じく新日本無線(株)は主力の半導体の受注減少と急激な円高の進行による採算悪化によりそれぞれ減益となる見込みであることから、営業利益は予想を下回る見込みです。

経常利益は、受取配当金の増加や持分法適用会社であるコンティネンタル・オートモーティブ(株)の好調などによる持分法投資損益の増加が見込まれるものの、営業利益の減少を補いきれず予想を下回る見込みです。

当期純利益については、（個別）で計上した子会社新日本無線(株)および CHOYA(株)の株式評価損は消去されますが、新日本無線(株)に係るのれんの未償却残高 23 億円を一括償却することなどにより、前回予想を下回る見込みです。

(2) 個別

(1) 連結修正理由に記載の通り、売上高は予想を若干上回る見通しであるものの、営業利益および経常利益は前回予想を下回る見込みです。

また、当期純利益は、子会社新日本無線(株)および CHOYA(株)の株価の下落等に伴い、株式評価損 163 億円（内 CHOYA 株式に係る中間期末計上分 32 億円は前回予想に折込済み）を特別損失に計上することなどにより 72 億円の損失となる見込みです。

(注) この資料に記載されている業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は様々な要因の変動により予想数値と異なる可能性があります。

以上